

大きくなって帰ってきてね～ニシンの稚魚2万匹放流

檜山振興局によるニシンの稚魚放流式が5月21日（金）町内小学生児童が放流体験に参加して行われました。

放流された稚魚は、順調に育つと2年から3年で成魚となるそうで、児童たちは「大きくなって元気にせなに戻ってきてね」と願いを込め、稚魚を見送りました。



【瀬棚区のB & G海洋センター艇庫前】
瀬棚小学校4年生



【大成区上浦漁港】
久遠小学校5年生



【大成区长磯漁港】
平田内小学校児童、長磯小学校児童

『巣籠の松』 後継樹の苗木の里帰り

「巣籠の松」は40年ほど前から次第に衰えてきていて、枯死寸前の状態であったため、町では巨樹や名木の後継樹増殖サービス「林木遺伝子銀行110番」を行っている独立行政法人・森林総合研究所林木育種センター北海道育種場に後継樹育成を要請していました。

同育種場は枝を採取、2年間育成し、巣籠の松の遺伝子を受け継いだ苗木（高さ45～55cm）に成長。5月20日（木）、大木丹羽町内会長らの手で「巣籠の松」のクローン苗木が丹羽地区内3ヶ所（玉川公園、晩翠の森、丹羽活性化センター）に植樹されました。

「巣籠（すごもり）の松」

旧丹羽中学校の校門近くにある高さ約11m、幹の直径約1mのイチイ。

樹齢650年以上とみられ、丹羽地区の開拓が始まった1892年（明治25年）当時、野鳥の営巣木だったことから「巣籠の松」と丹羽開拓の祖、丹羽五郎さんが名付けたと伝えられています。

この松は北海道の記念保護樹木に指定されています。



大成くおん大学生が 環境美化活動を行いました!!

5月27日（木）、大成くおん大学生による旧大成高校の花壇整備を行いました。

当日は学生14名が参加し、旧大成高校周辺の草取りを行った後、マリーゴールドの苗やアンジェリアの種など植え、お昼は、みなさんでおにぎりを食べながら親睦を図りました。午後からは、図書館前の草取りも行い、とてもきれいになりました。

最後は、大成図書館の桜をバックに記念撮影です。みなさん疲れた表情もなく、笑顔で写っていました。参加した学生のみなさんお疲れ様でした。



瑞宝単光章受章

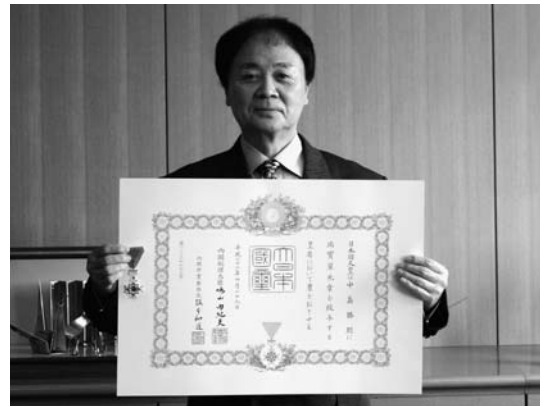
なかじま かつのり

中島 勝則 氏

北檜山区若松

元 檜山広域行政組合せたな町北檜山消防団団長

6月2日（水）役場町長室において、4月29日の春の叙勲で受章された中島氏へ檜山振興局長から伝達式がありました。中島氏は昭和36年から平成19年までの永きにわたり消防団員として地域住民の生命財産を守り、消防団組織の充実・強化や火災予防の普及に努めるなど、地域防災活動に大きく貢献された功績が認められ受章となりました。



手をあげて 横断歩道を渡りましょう!!

5月20日（木）、瀬棚保育所において佐川急便による交通安全教室が行われました。

毎年、外で行われている交通安全教室でしたが、今年は雨のため室内での開催となりましたが、小さな佐川急便のトラック等を用意して、お兄さんやはこぶ君から信号機の見方や横断歩道の渡り方、トラックの周りで遊ぶと危ないことを実演して教えてもらいました。

実際に、模擬信号機を使って横断歩道を渡る練習もしました。上手に渡ることが出来た子ども達に、はこぶ君からごほうびが手渡されました。

大切な自然～ 「お魚を殖やす植樹祭」

5月28日（金）、大成区の貝取潤地区において「お魚殖やす植樹祭」が開催されました。

この事業は、ひやま漁協女性部大成支部が中心となり平成8年度から“豊かな海と森づくり総合対策事業”として実施しているもので、これまで大成区内の臼別川や小川周辺にサクラなどの広葉樹を主体に2,500本以上植えられ、今年も貝取潤川付近へヤエザクラ100本が植樹されました。



稲葉選手(日本ハムファイターズ)が リレーバトン寄贈

日本ハムファイターズの稲葉篤紀選手が行っている「Aiプロジェクト」の一環として小学校へリレーバトンの寄贈がありました。この計画は今年から始められ、5年間で全道の小学校全てに贈られます。

「全力疾走」と書かれたバトンがせたな町には3セット届けられ、久遠小学校、瀬棚小学校、北檜山小学校へ配布されました。運動会では児童と一緒にバトンも全力疾走でしたね。